

2019 S3 ディスク リテーラー アセンブリ マニュアル

cervélo

velo

目次

重要な情報.....1	ST029 ステムカット計算機.....19
ツールと備品のリスト...2	フォークとシステムの取り付け - 電動.....20
2019 S3 ディスク部品リスト.....3	フォークとシステムの取り付け - 機械的.....21
フレームの特徴.....4	ヘッドセットの調整.....22
ハンドルバーとシステムのコンポーネント.....5	ステムの締め付け.....23
フォークとヘッドセットのコンポーネント.....6	ハンドルバーケーブル配線 - 電動... 24
小さな部品.....7	ハンドルバーケーブルルーティング - 機械式.....25
フレームの準備.....8	D12 バッテリーの取り付け.....26
S3 ディスクアセンブリの概要.....9	電気ケーブルの設置.....27
電気ケーブルの概要.....11	機械ケーブルの取り付け.....28
機械ケーブルの概要.....12	シートポストアセンブリ.....29
ブレーキハウジングのルーティング.....13	シートポストの切断手順.....30
電気ケーブル配線... 15	フレーム保護の取り付け.....31
機械的なケーブル配線.....16	タイヤクリアランス.....32
ST029 ステムスタック.....17	迅速な車輪ギヤルの取り付け.....33
ST029 ステムカット手順書.....18	

重要な情報

このマニュアルは、Cervéloの販売店が2019年モデルのS3 Discバイクのセットアップとカスタマイズを行う際に役立ちます。このマニュアルは一般ユーザー向けではなく、適切な組み立てには指定された工具が必要です。

指定された部品を使用し、付属の組み立て説明書に従わない場合、走行中に制御不能となり、重傷を負う可能性があります。このマニュアルは、この自転車の組み立てに必要な手順と、このマニュアルに記載されている変更を行うための手順の概要です。このマニュアルは、販売店がすべてのプロの自転車整備士に求められる最低限の知識とスキルレベルを有していることを前提としています。詳細は<https://www.probma.org/>をご覧ください。

ツールと備品のリスト

このマニュアルでは、S3 Discのオプション調整手順について説明しています。これらの調整手順は、Cervéloが最初に販売した自転車とは異なるものです。これらの調整には、以下の工具と部品が必要です。これらの部品はCervélo正規販売店でのみご購入いただけます。Cervéloは、すべての組み立ておよび調整手順をCervélo正規販売店で行うことを強くお勧めします。

別途購入可能なすべての部品は、このマニュアルに Cervélo 部品番号とともにすべて大文字で記載されており、完全なリストは 3 ページに記載されています。





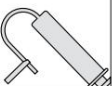


注:シマノやSRAMなどの非独自コンポーネントはすべて

お近くの販売店から入手可能です。

注意:このマニュアルは、Cervélo 一般ユーザーマニュアルを補充するために作成されたもので、コンポーネント製造元が提供する組み立ておよび取り付け手順（この自転車に付属）を補足することを目的としています。

注意：Cervéloは、すべての組み立ておよび調整手順をCervélo正規販売店にご依頼いただくことを強く推奨いたします。Cervélo S3 Discのお客様/購入者で、このマニュアルをお読みになっている場合は、このマニュアルに記載されている手順を実行する前に、Cervélo正規販売店にご相談いただくか、www.cervelo.com/supportをご覧ください。

ツール	
	自転車用ワークスタンド（シートポストで自転車を固定するタイプ、またはフォークマウント付きのプロ用スタンド）
	2.5Nm〜15Nmの範囲のトルクレンチとアダプタ:
	六角ヘッドインサート: 2mm、2.5mm、3mm、4mm、5mm、 6mm、8mm、10mm
	オープンエンドレンチ: 7mm、8mm、10mm、17mm
	ケーブルカッター
	ペンチ

ツール	
	プラスドライバー
	マイナスドライバー
	ペダルレンチ
	プレーキローターロックリングツール
	油圧ブリードキット
	D12ワイヤーツール - シマノ
	良質の自転車用グリス

2019 S3 ディスク パーツリスト

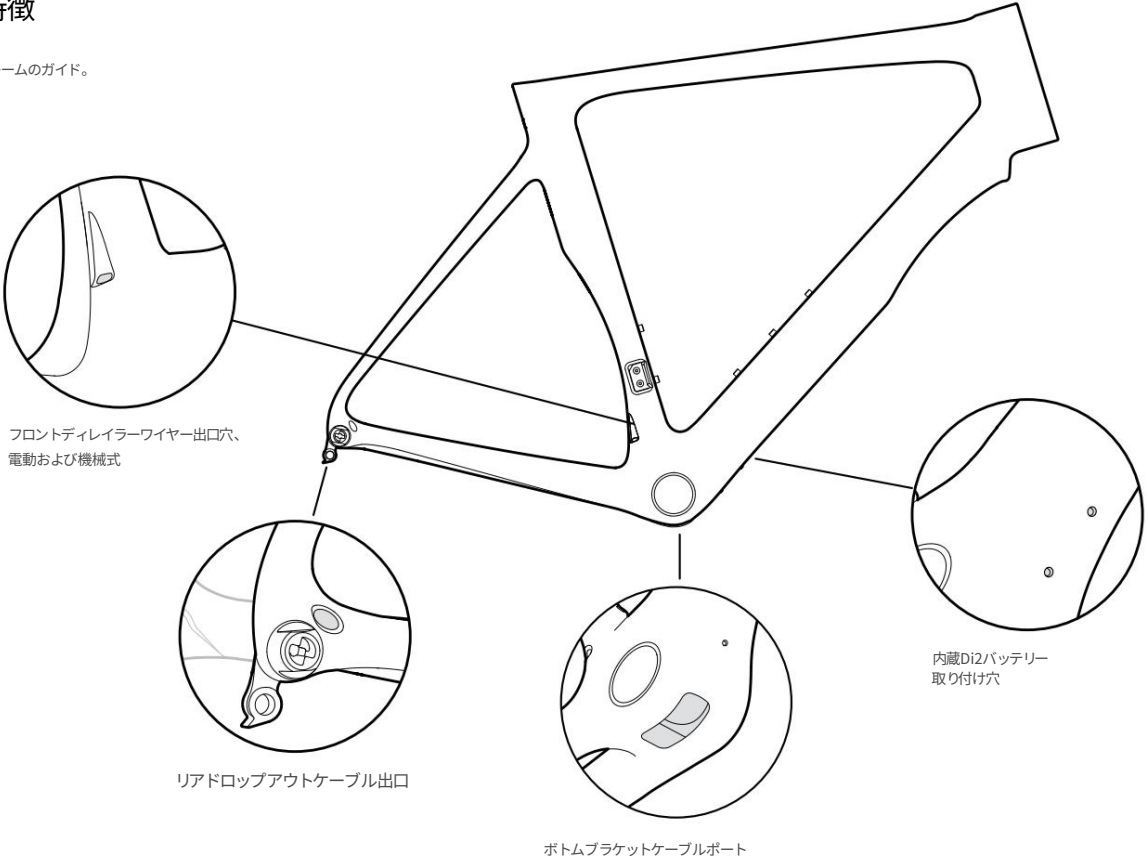
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
フォーククランプウェッジキット FK-0E0S3	
フロントディレイラー ボルトで取り付け	FDM-0E0
ディスクブレーキボース ガイド	CBG-DBH
ST029 ステム 80mm w/ トップキャップ	ST-A029-80
ST029 ステム 90mm w/ トップキャップ	ST-A029-90
ST029 ステム 100mm トップ キャップ付き	ST-A029-100
ST029 ステム 110mm トップ キャップ付き	ST-A029-110
ST029 ステム 120mm トップ キャップ付き	ST-A029-120

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
ST029 ステム 130mm トップ キャップ付き	ST-A029-130
ST029 ステムトップ キャップ	STC-A029
AB09 カーボン ハンドルバー 380mm	HB-AB09-38
AB09 カーボン ハンドルバー 400mm	HB-AB09-40
AB09 カーボン ハンドルバー 420mm	HB-AB09-42
AB09 カーボン ハンドルバー 440mm	HB-AB09-44
ST029 ステムスパーサー キャップ40mm	SS-A029-キット
ST029 ヘッドセット ベアリングキャップ	BC-A029

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
ST029 ヘッドセット 1-1/4 - 1-3/8	HS-A029
SP20カーボン シートポスト 0mm ヘッド付きオフセット	SP-SP20-ゼロ
SP20カーボン シートポスト 25mm ヘッド付きオフセット	SP-SP20-25MM
シートポストクランプ アセンブリS2/S3	SPC-0E0S2S3
BBケーブルガイド/カバー BBG-0E0	
内蔵バッテリーマウント 組み立て	MT-BINT

フレームの特徴

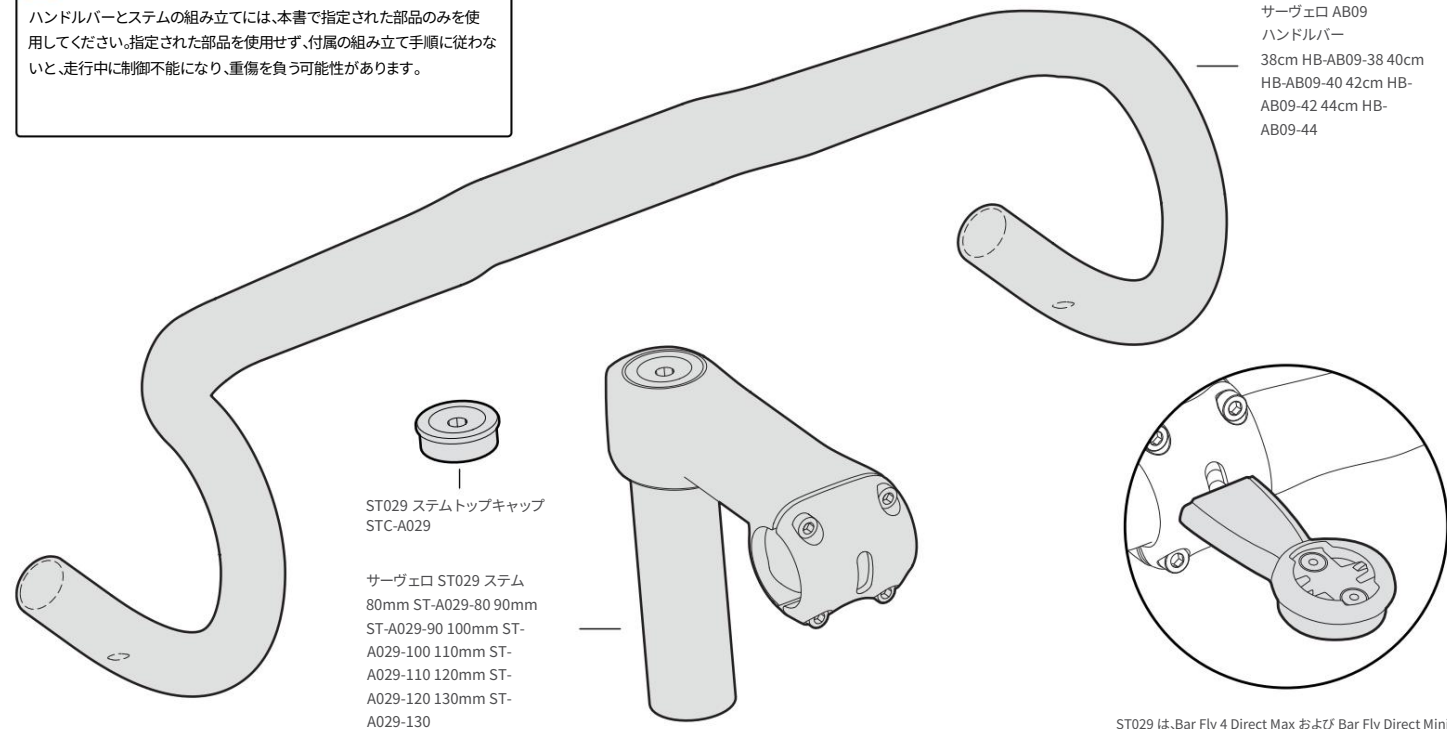
Cervélo S3 ディスクフレームのガイド。



ハンドルバー&ステムコンポーネント

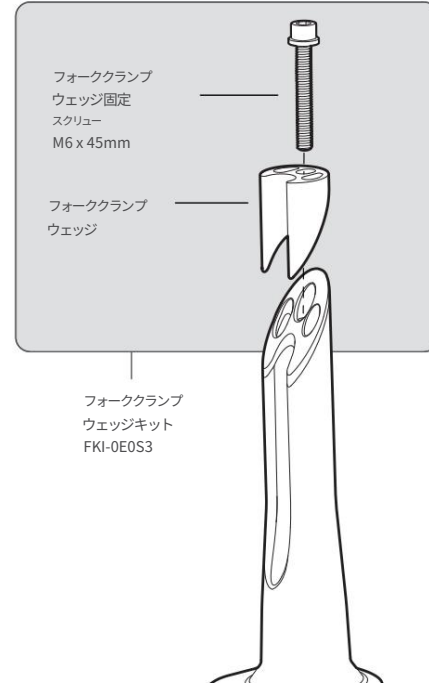
⚠ WARNING

ハンドルバーとステムの組み立てには、本書で指定された部品のみを使用してください。指定された部品を使用せず、付属の組み立て手順に従わないと、走行中に制御不能になり、重傷を負う可能性があります。



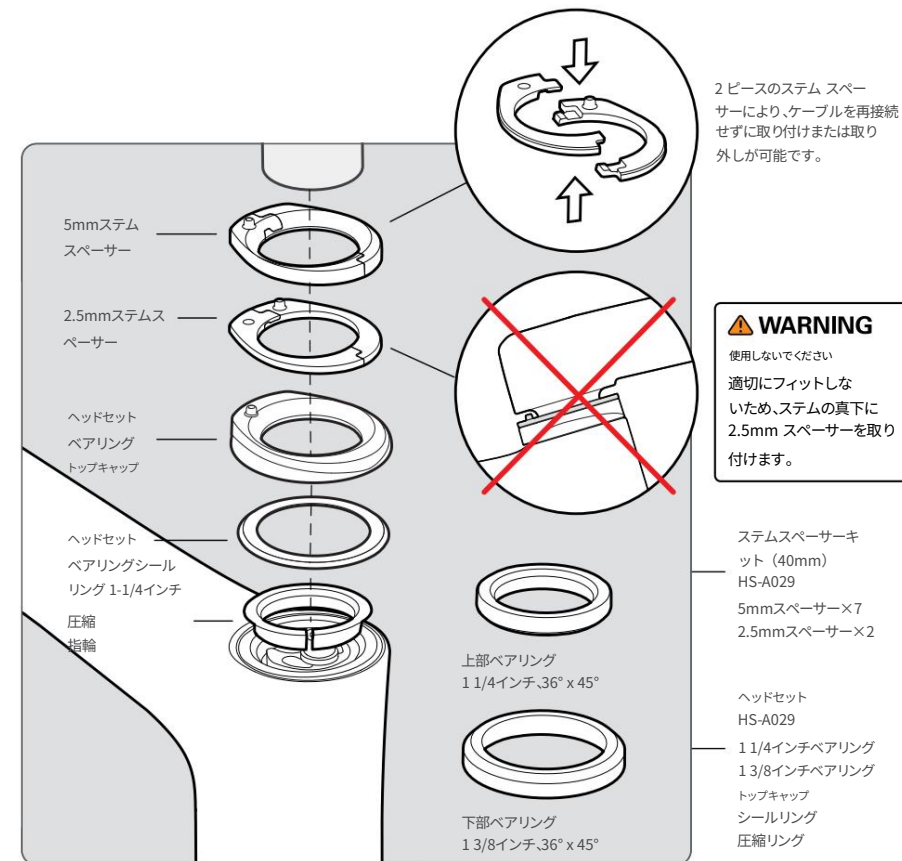
ST029 は、Bar Fly 4 Direct Max および Bar Fly Direct Mini Garmin ステムマウントに対応しています。

フォーク&ヘッドセットコンポーネント



⚠ WARNING

Cervéloのフレームとフォークは互いに連動するように設計されています。別のフォークを取り付けようとしてください。



⚠ WARNING

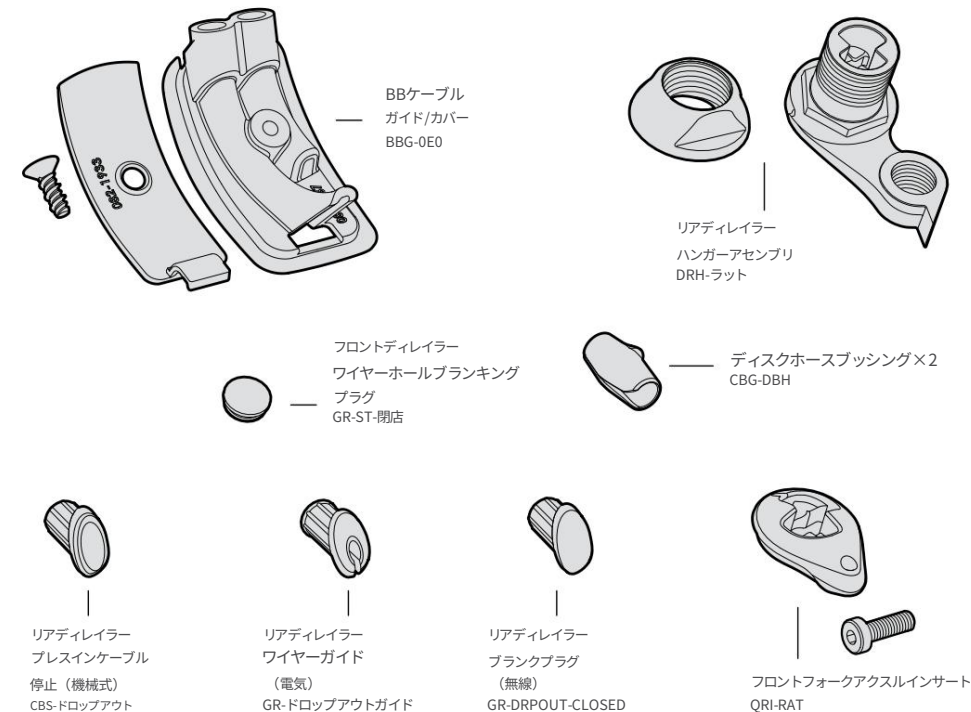
使用しないでください
適切にフィットしないため、ステムの真下に 2.5mm スパースーを取り付けます。

ステムスパースーキット (40mm)
HS-A029
5mmスパースー×7
2.5mmスパースー×2

ヘッドセット
HS-A029
1 1/4インチベアリング
1 3/8インチベアリング
トップキャップ
シールリング
圧縮リング

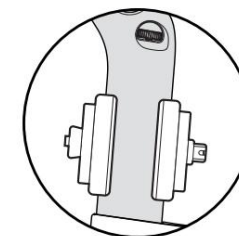
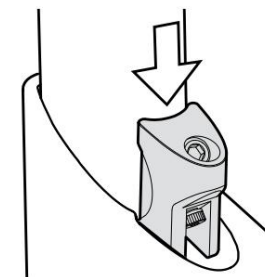
小さな部品

S3 ディスク フレームは、電子制御、機械制御、油圧制御に対応するように設計されており、方法やブランドに関係なく、すべてのシフトシステムをシームレスに統合できるように設計されています。そのため、以下に示す部品が必要になります。



フレームの準備

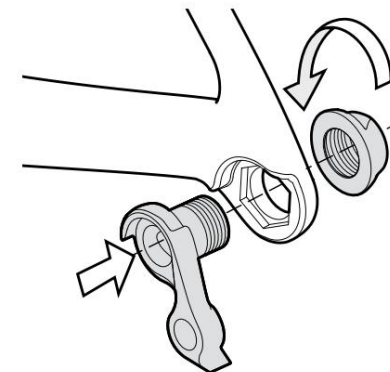
1. フレームとシートポストの両方にカーボンアセンブリコンパウンドを塗布します。
2. シートポストクランプ (SPC-0E0S2S3)を完全に挿入します。
フレームにトップチューブと完全に面一になるように取り付けます。
3. 高さとトルクを最大 8Nm に調整します。



⚠ WARNING
固定されたシートポストのみを使用してフレームを保持します。

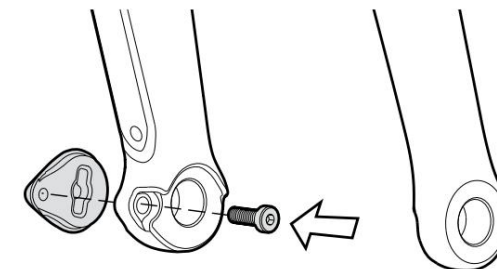


⚠ WARNING
トップチューブをクランプするとフレームが損傷し、保証が無効になる場合があります。



リア ディレイラー ハンガー固定ナットに軽くグリースを塗り、リア ディレイラー ハンガー (Cervélo Rapid Axle の場合は DRH-RAT) を指で締め付けて取り付けます。後輪取り付け後に最終締め付けを行います。

⚠ WARNING
後輪を取り付けていない状態でリアディレイラーハンガーアセンブリを本締めしないでください。そうしないと、ディレイラーの位置がずれ、変速が悪くなります。

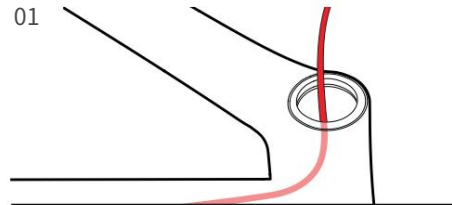


付属の M4 固定ネジに軽くグリースを塗り、フロントフォーク アクスル インサート (Cervélo Rapid Axle 用 QRI-RAT) をフォークに取り付けます。3Nmまで締めます。

S3 ディスクアセンブリの概要*

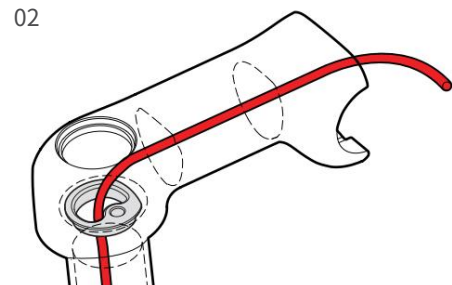
注:より詳細な組み立て手順については、次のページを参照してください。

01



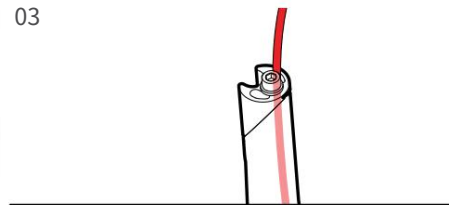
軽くグリースを塗った上部ヘッドセットベアリングを取り付けます。
切断されていないリア ブレーキ ホースをチェーン ステアから配線し、ヘッドチューブの上部を通してフレームから出ます。

02



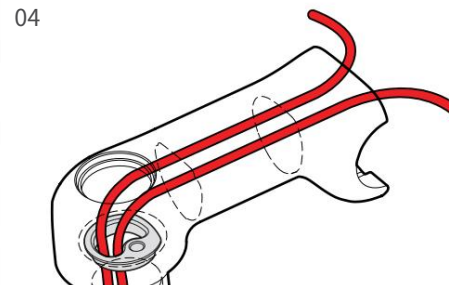
ステムステアラーに、必要なステムスペーサー、ヘッドセットトップキャップ、シールリング、コンプレッションリングを取り付けます。これらは後で取り付けるためです。リアホースをステムに通して、ステムの口から出るようにします。

03



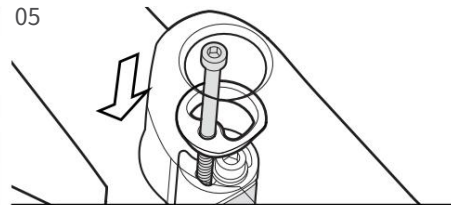
フロント ブレーキ ホースをフォークに通して、非ドライブ側のフォーク クランプ ウェッジから出します。
取り付け前に、フォーク ステアラーの外側とステム ステアラーの内側の接触部分にカーボン アセンブリ コンパウンドを塗布します。

04



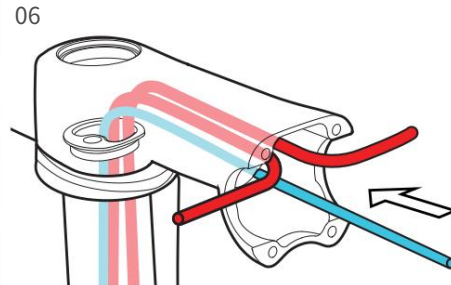
軽くグリースを塗った下部ベアリングを取り付け、フレームとステムステアラーにフォークを取り付け、フロント ブレーキ ホースを、ステムを通るリア ブレーキ ホースと同じ経路を通るように配線します。

05



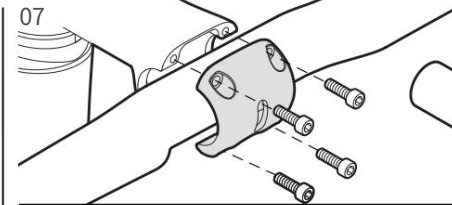
軽くグリースを塗ったM5 x 100mmのプリロードスクリューを取り付けます。ベアリングのガタがなくなるまで締め付けます。

06



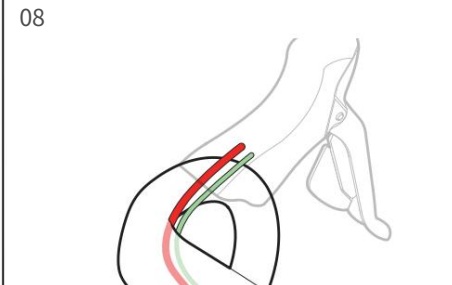
ステムの入り口から始め、シフターハウジングをステムに通し、シフターからBBケーブルポートまで届くようにします。2つ目のシフターハウジングについてもこれを繰り返し、どのハウジングが前側でどのハウジングが後側かを確認します。

07



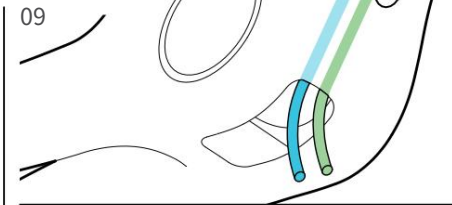
バーにシフターを取り付けた状態で、ホースとシフター ハウジングがフェースプレートの適切な側にあることを確認しながら、バーをステムに取り付けます。
ハンドルバーとステムのフェースプレートの接触部分にカーボンアセンブリコンパウンドを塗布します。

08



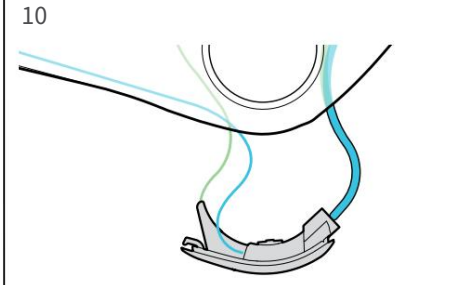
ケーブルとホースの端をシフターに取り付けます。引いて/
または、ホースとハウジングがシステム内を移動するように軽く押します。

09



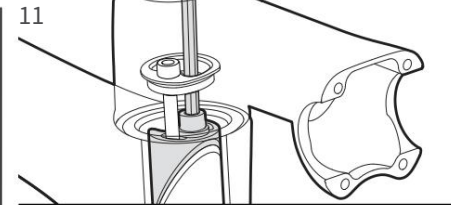
BB ケーブル ポートの先端にあるシフター ハウジングをトリミングし、製造元の指示に従ってケーブルを取り付けます。

10



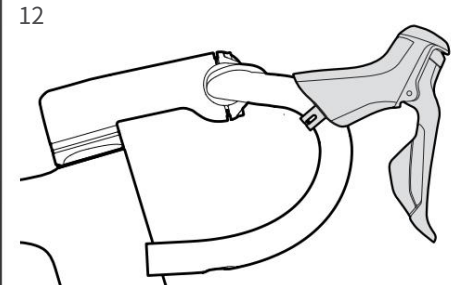
フェール付きのハウジングを BB ケーブル ガイドに取り付け、それに
応じてシフター ケーブルをフレームに通します。

11



ステムをまっすぐにして、フォーククランプウェッジを締め
て固定します。

12

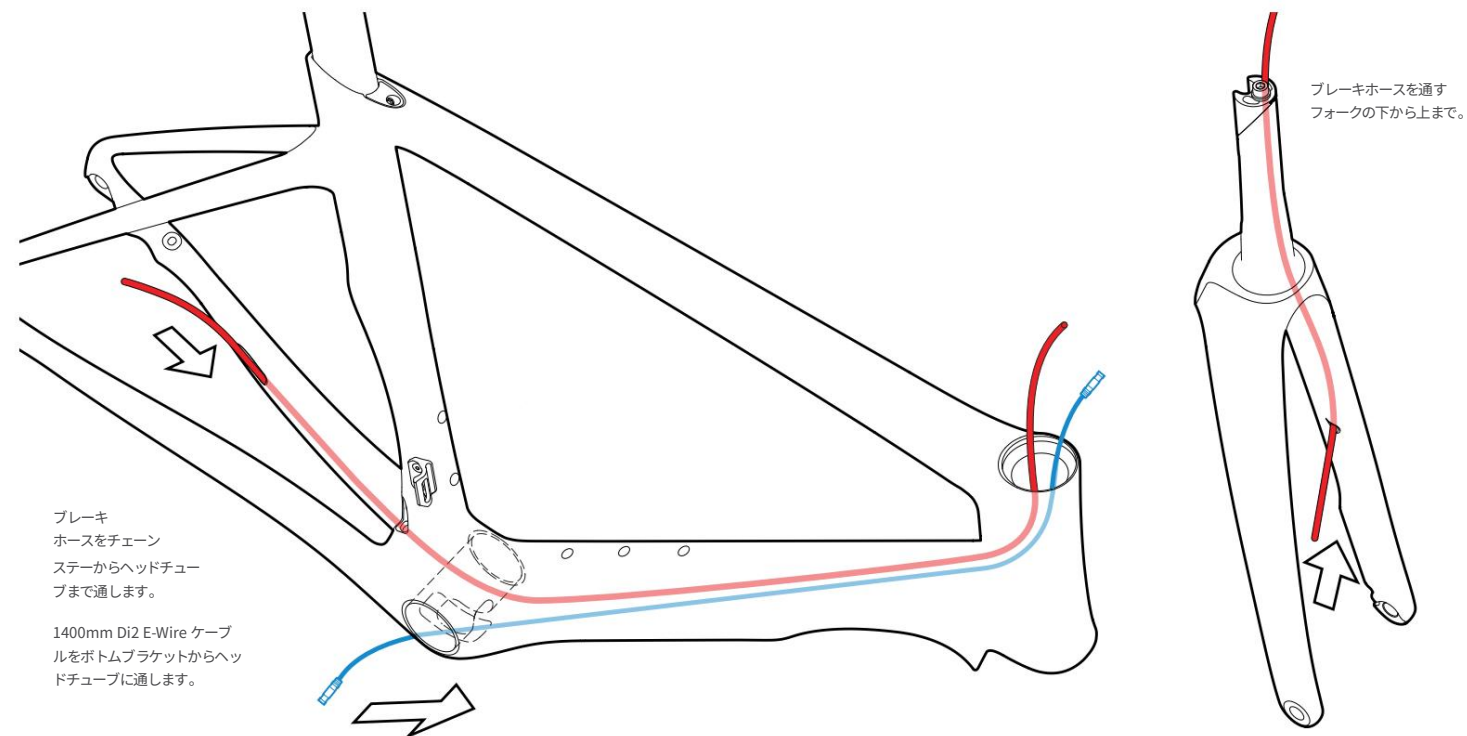


残りのコントロールを接続して組み立てを完了します。

*機械配線図

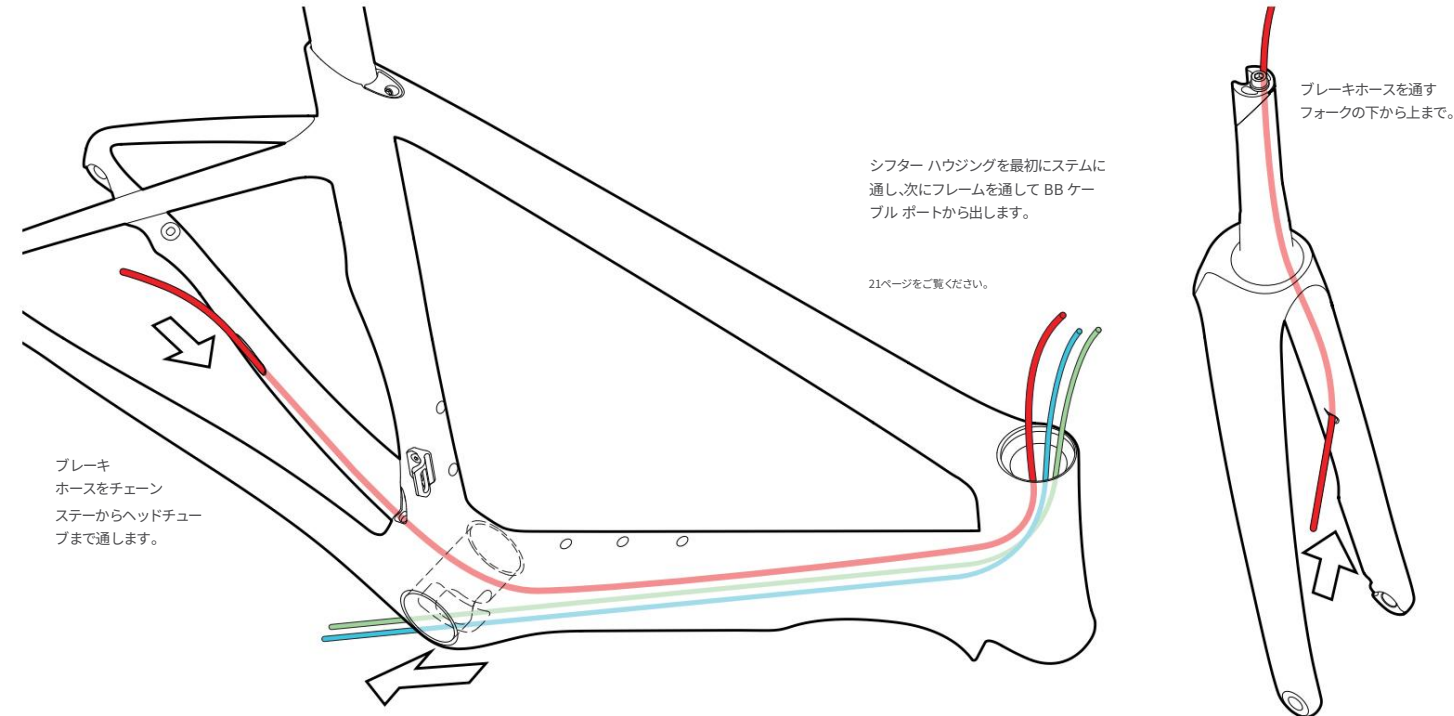
電気ケーブルの概要

● ブレーキ ● Eワイヤー



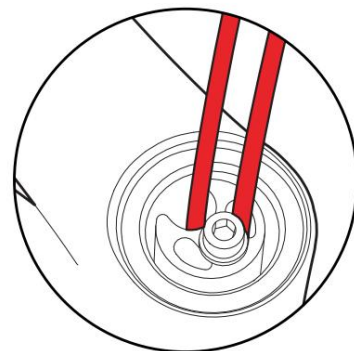
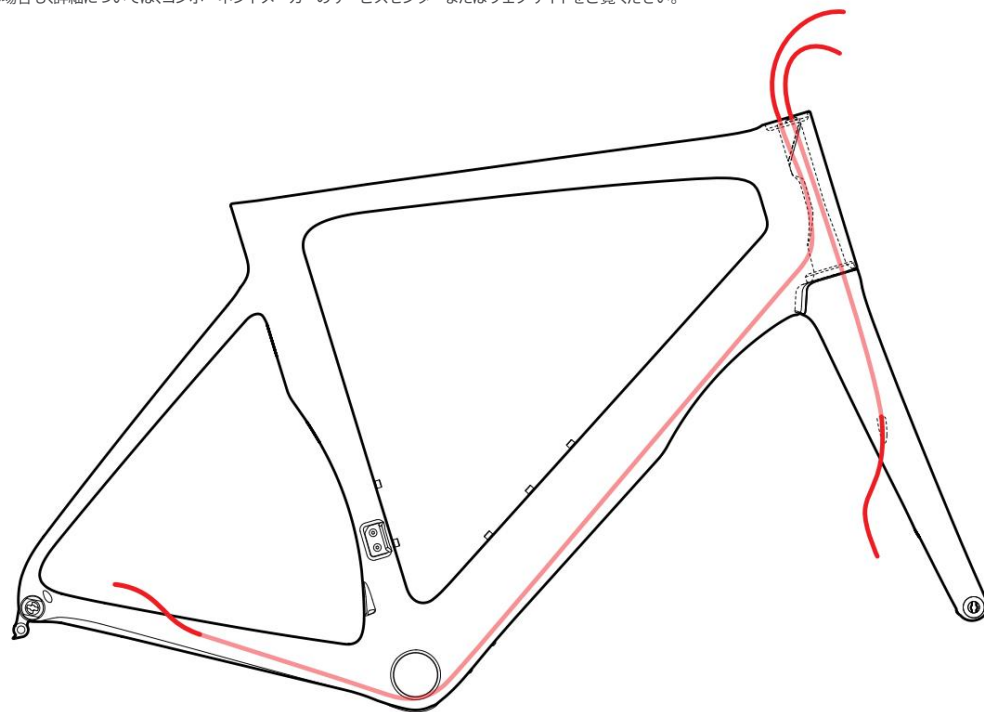
メカニカルケーブルの概要

● ブレーキ ● リアシフター ● フロントシフター



ブレーキハウジングのルーティング

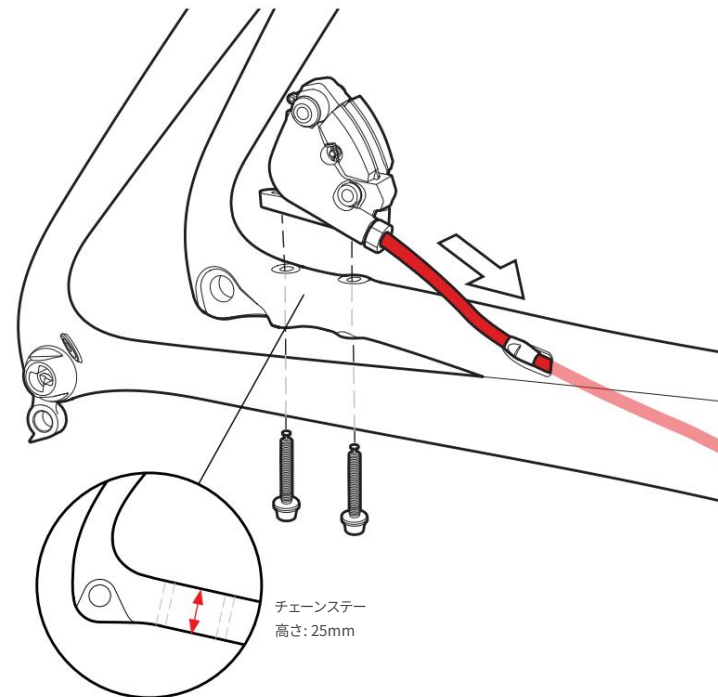
油圧ブレーキホースまたはブレーキケーブルハウジングを最初に取り付けることをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。油圧式ディスクブレーキと機械式ディスクブレーキのいずれの場合も、詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。



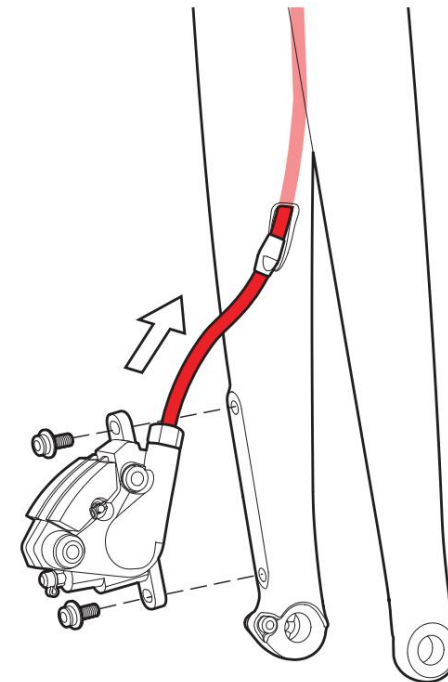
リアブレーキホースを配線する
フレームのフォーク裏側の溝からフロントブレーキホースを取り外します。フロントブレーキホースはフォークを通り、左側のフォーククランプウェッジから出ています。

ブレーキハウジングのルーティング

ディスクホースブッシング (CBG-DBH)を使用して、油圧ブレーキホースまたは機械式ブレーキハウジングをフレームとフォークに通します。キャリアはメーカーの指示に従って取り付け、調整してください。



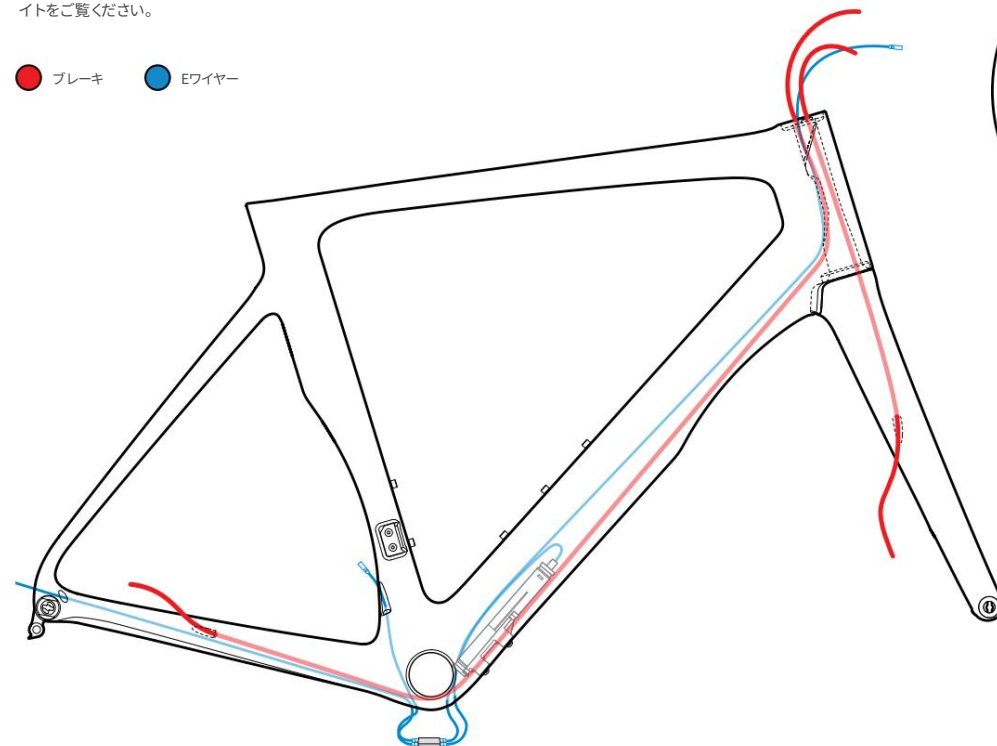
チェーンステー
高さ: 25mm



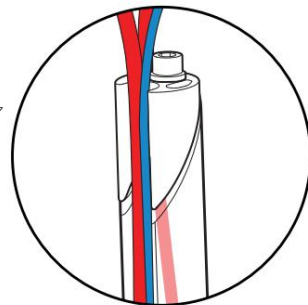
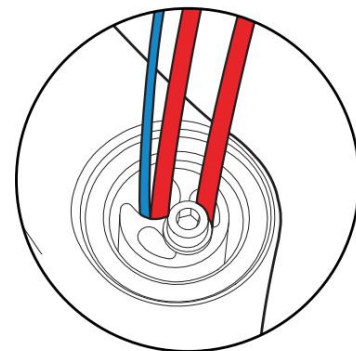
電気ケーブル配線

ブレーキホースを取り付けた後に、電気配線と接続ポイントを設置することをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、部品メーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

● ブレーキ ● Eワイヤー



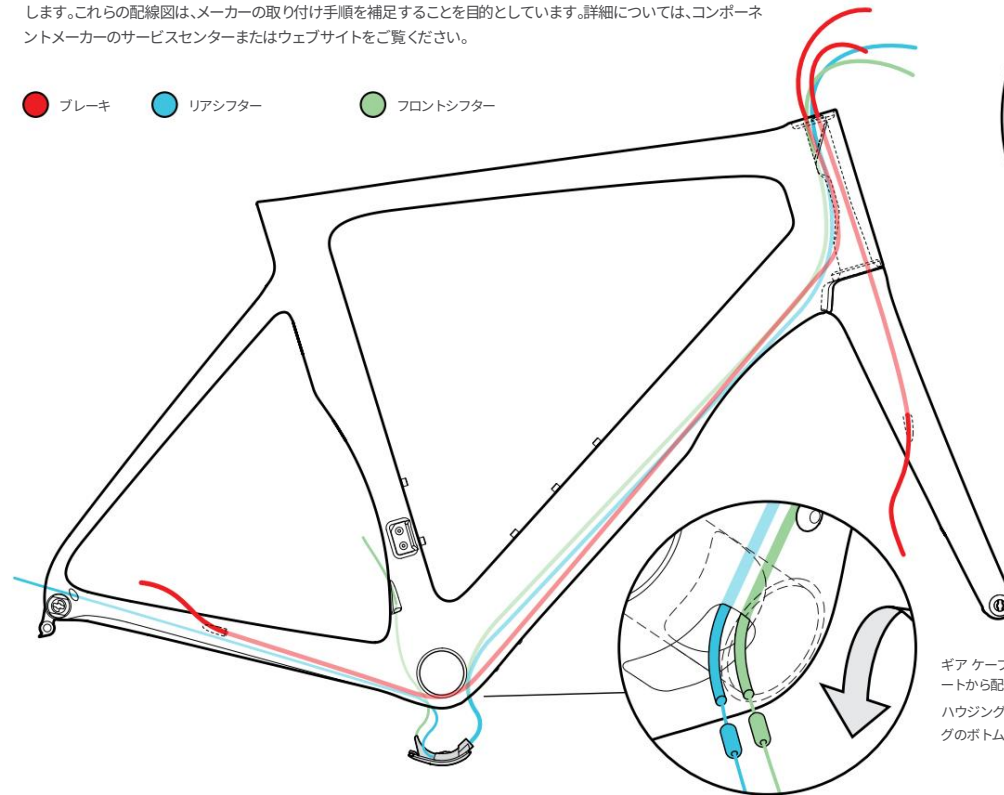
ケーブルをフォークステアラーチャンネルに取り付けます。



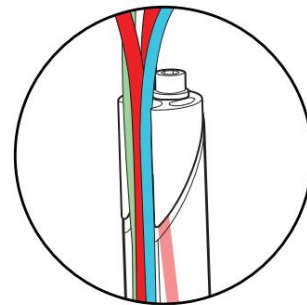
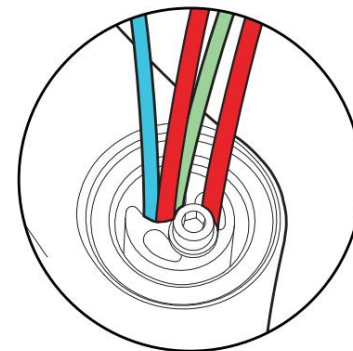
機械ケーブル配線

ブレーキホースを取り付けた後、フロントディレイラーケーブルとリアディレイラーケーブルを取り付けることをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

● ブレーキ ● リアシフター ● フロントシフター



ケーブルをフォークステアラーチャンネルに取り付けます。



ギアケーブルハウジングをボトムブラケットケーブルポートから配線します。
ハウジングがねじれていないことを確認します。ハウジングのボトムブラケット端にフェールールを追加します。

ST029 ステムスタック

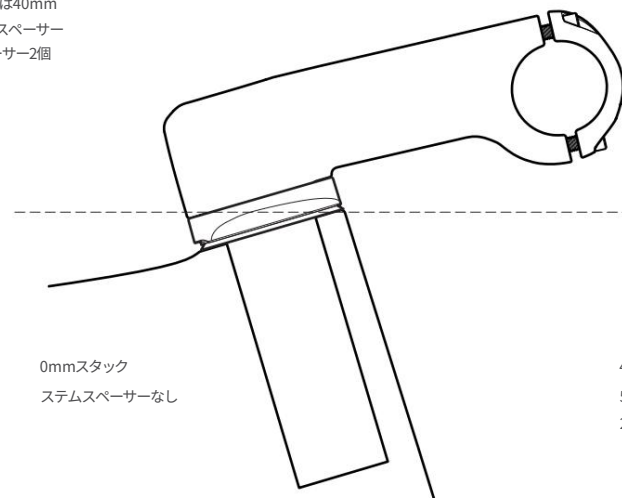
**WARNING**

ヘッドセットの調整に支障をきたすため、2.5mm スパースをステムの真下に置かないでください。

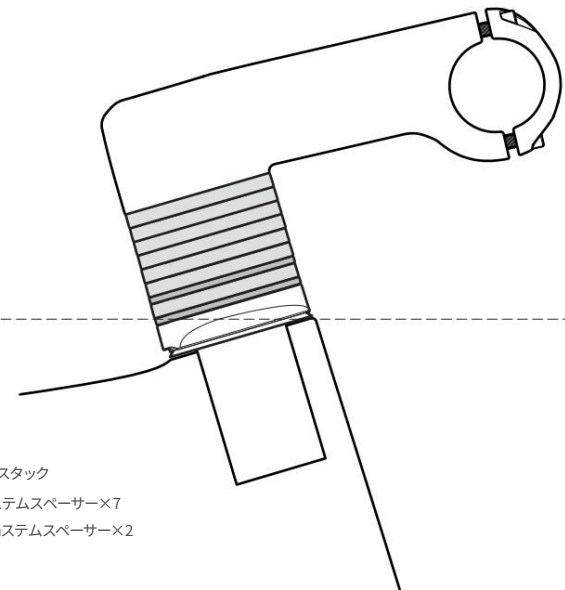
**WARNING**

ヘッドセットの調整に支障をきたすため、2.5mm スパースを直接積み重ねないでください。

注 : ステムスタックの最大調整幅は40mmです。この調整には、5mm ステムスパース7個すべてと2.5mm ステムスパース2個が必要です。

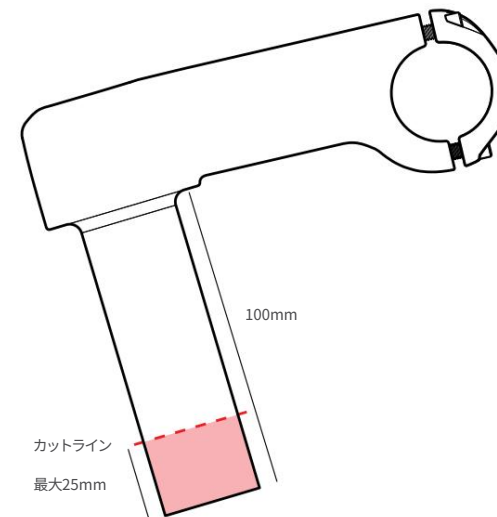


40mmスタック
5mm ステムスパース×7
2.5mm ステムスパース×2



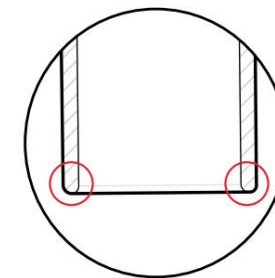
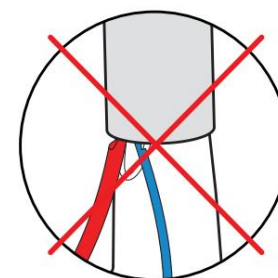
ST029 ステムカット手順

48cmおよび51cmのS3ディスクフレームでは、ステムを最も低いスタックポジションに配置するためにステムステアラーを切断する必要があります。54cmから61cmのフレームではステムを切断する必要はありません。

**WARNING**

ステムステアラーをカットして低い位置によっては、適切なクランプを確保するために、ステムステアラーの最小挿入ラインを同じ量だけ上に移動する必要があります。

1. 薄い色のグリースペンシルを使って、切り取る場所を正確にマークします。ステムステアラーのボトムエッジから5mm〜25mm離してください。フレームサイズと希望するスパーススタックの組み合わせに基づく正確な数値については、19ページの表をご覧ください。
2. ST029 を Park Tool SG-6 ソーガイド (または同等品) に挿入し、ツールのブレードガイドを通してカットオフラインがはっきりと見えるようにします。
3. 金属切断専用設計されたブレードを使用して、ステムステアラーの切断に進みます (Park Tool の指示に従ってください)。
4. 切り口を丁寧にヤスリで削り、バリを取り除き、切り口の内側と外側の両方に半径を付けます。

**WARNING**

ステムステアラーは底付きしてはならない。フォークステアラーのテーパー部分に接触してください。ステムステアラーによってフォークやブレーキホースが損傷すると、走行中に制御不能になり、重傷を負う可能性があります。

WARNING

切断面の内側と外側が滑らかで、フォークを傷つけるバリがないことを確認します。ステムステアラーによってフォークやブレーキホースが損傷すると、走行中に制御不能になり、重大な傷害を負う可能性があります。

ST029 ステムカット計算機

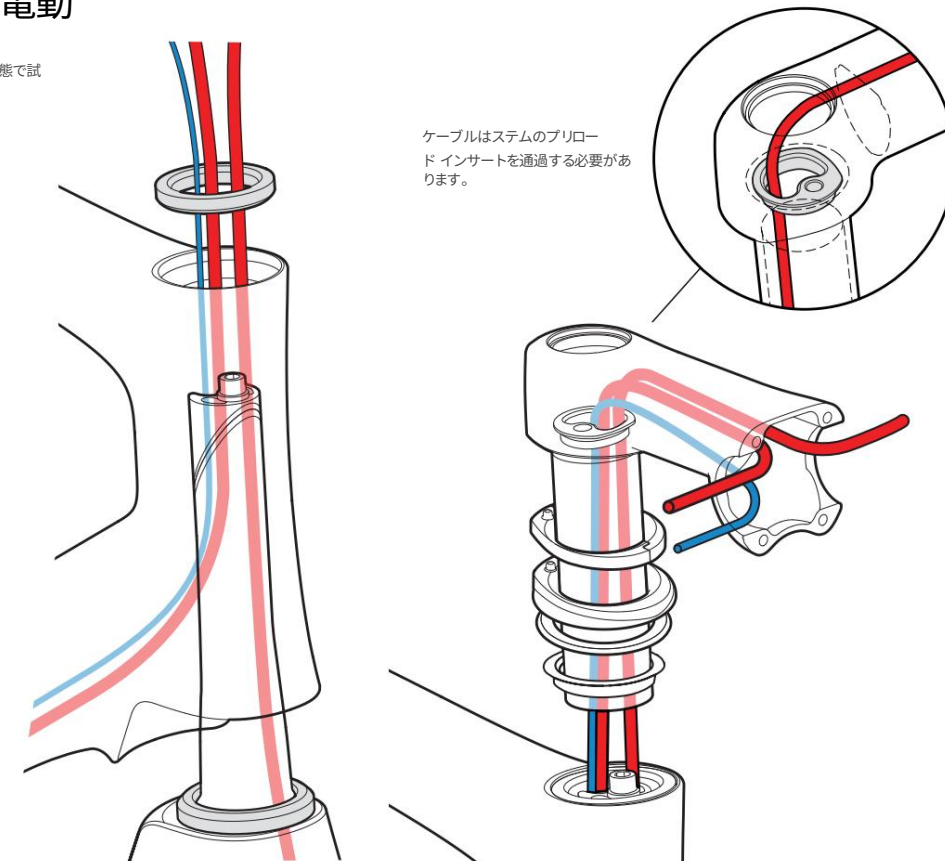
フレームサイズ*	48cm		51cm	
スぺーサースタック (mm)	削除された長さ ステムステアーズ	結果として得られる最大スぺーサースタック可能	削除された長さ ステムステアーズ	結果として得られる最大スぺーサースタック可能
0mm (押し込んだ状態)	25mm	15mm	5mm	35mm
5mm	20mm	20mm	0mm	40mm
10mm	15mm	25mm	0mm	40mm
15mm	10mm	30mm	0mm	40mm
20mm	5mm	35mm	0mm	40mm
25mm	0mm	40mm	0mm	40mm
30mm	0mm	40mm	0mm	40mm
35mm	0mm	40mm	0mm	40mm
40mm (最大許容値)	0mm	40mm	0mm	40mm

*サイズ54cm以上のフレームにはステムステアラーの切断は必要ありません。

フォーク&ステムの取り付け - 電動

注意:完全な取り付けを行う前に、ホースや制御ケーブルを取り付けない状態で試しに組み立てて、ステアリング システムに慣れておくことをお勧めします。

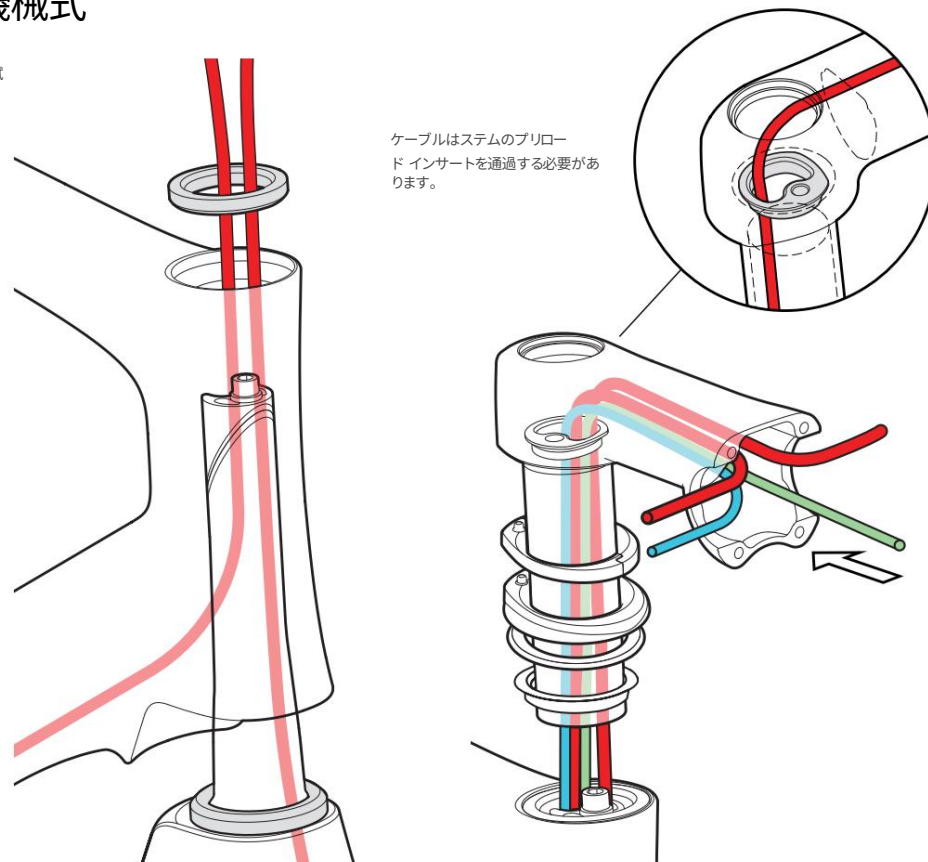
1. 軽くグリスを塗った下部ベアリングをフォークに取り付けます。
2. ブレーキ ホースと 1400mm Di2 E ワイヤーを、軽くグリスを塗った上部ベアリングに通します。
3. 上部ベアリングをフレームに押し込みます。
4. 希望するステムスぺーサーをスライドさせて、ベアリングトップキャップ、シールリング、コンプレッションリングをステムに取り付けます。ステムの真下に2.5mmのステムスぺーサーを配置しないでください。
5. リアブレーキホースとE-Wireケーブルを通す
ステムステアラーを通り、プリロードインサートを通してステムの口から出ます。
6. カーボンアセンプリコンパウンドを塗布する
フォークステアラーの外側とステムステアラーの内側に接触する部分です。
7. フォークをステム ステアラーに取り付け、フロント ブレーキ ホースを、ステムを通るリア ブレーキ ホースと同じ経路を通るように配線します。
8. プリロードスクリューを取り付けます (22ページ参照)。ベアリングの遊びをなくすために締め付けます。



フォーク&ステムの取り付け - 機械式

注意:完全な取り付けを行う前に、ホースや制御ケーブルを取り付けない状態で試しに組み立てて、ステアリング システムに慣れておくことをお勧めします。

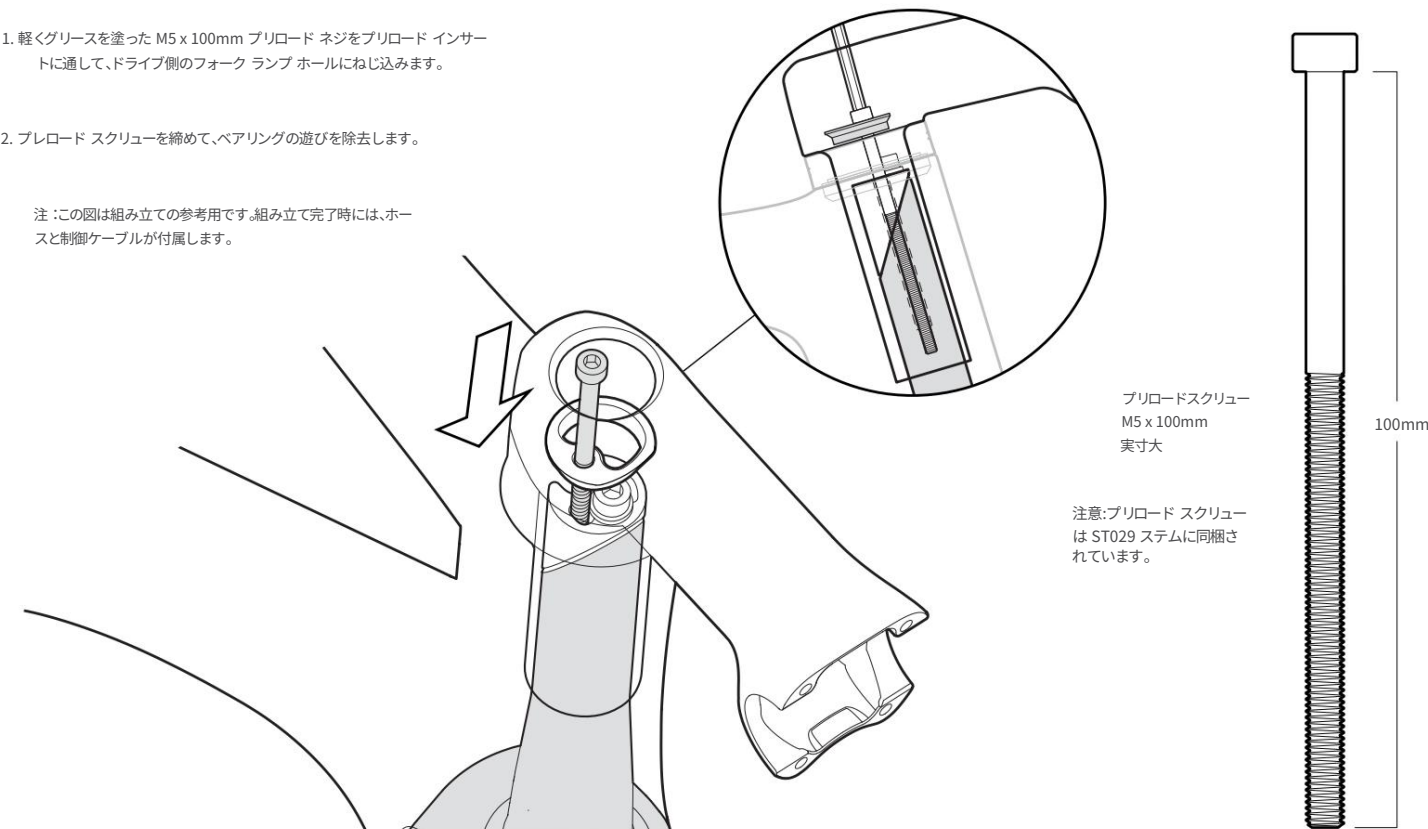
1. 軽くグリースを塗った下部ベアリングをフォークに取り付けます。
2. 軽くグリースを塗った上部ベアリングにブレーキホースを通します。
3. 上部ベアリングをフレームに押し込みます。
4. 希望するステムスパーサーをスライドさせ、ベアリングを取り付けます。
トップキャップ、シールリング、コンプレッションリングをステムに取り付けます。ステムの真下に2.5mmのステムスパーサーを取り付けないでください。
5. リアブレーキホースをステムステアラーに通します。
プリロードインサートを通してステムの口から出てきます。
6. 接触するフォーク ステアラーの外側とステム ステアラーの内側にカーボンアセンプリ コンパウンドを塗布します。
7. フォークをステムステアラーに取り付け、配線する
フロントブレーキホースが、ステムを通してリアと同じ経路を通るようにします。
8. プリロードスクリューを取り付けます (22ページ参照)。ベアリングの遊びをなくすために締め付けます。
9. 茎の口から始めて、フィードシフター
ハウジングを 1 本ずつステムに通して、シフターから BB ケーブル ポートまで届くようにします。



ヘッドセットの調整

1. 軽くグリースを塗った M5 x 100mm プリロード ネジをプリロード インサートに通して、ドライブ側のフォーク ランプ ホールにねじ込みます。
2. プレロード スクリューを締めて、ベアリングの遊びを除去します。

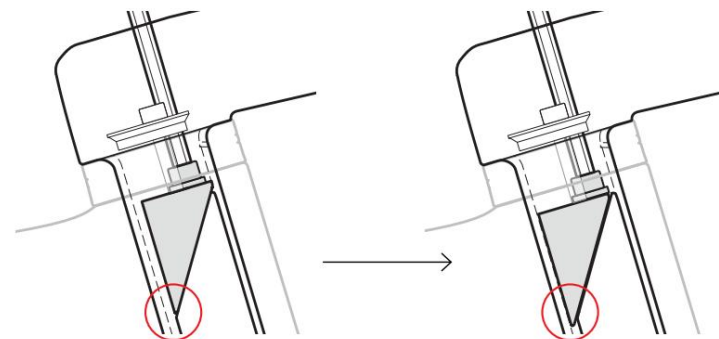
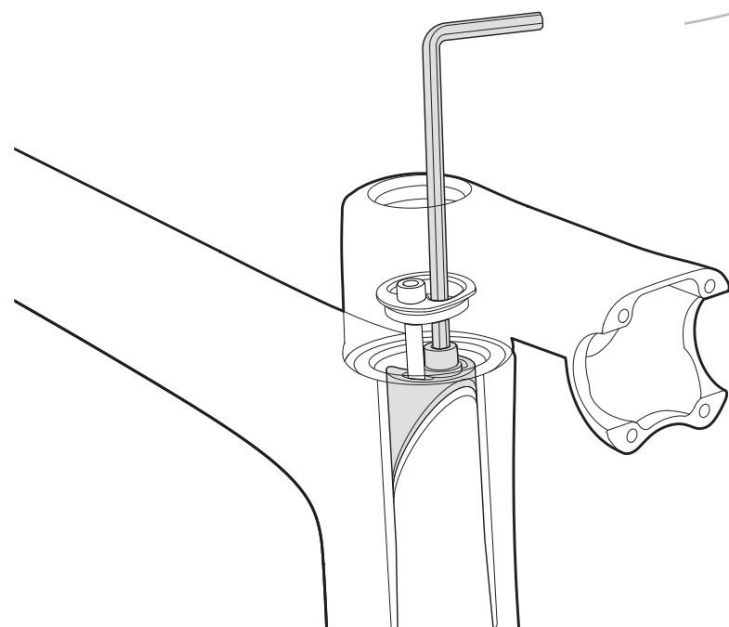
注 :この図は組み立ての参考用です。組み立て完了時には、ホースと制御ケーブルが付属します。



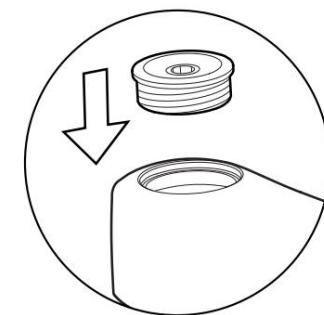
ステム締め付け

ステムを前輪に合わせ、フォークウェッジクランプを締めます。軽くグリースを塗ったフォークウェッジ固定ネジを12Nmで締めます。

注：この図は組み立ての参考用です。組み立て完了時には、ホースと制御ケーブルが付属します。



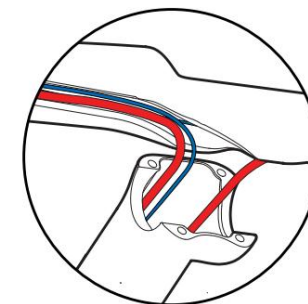
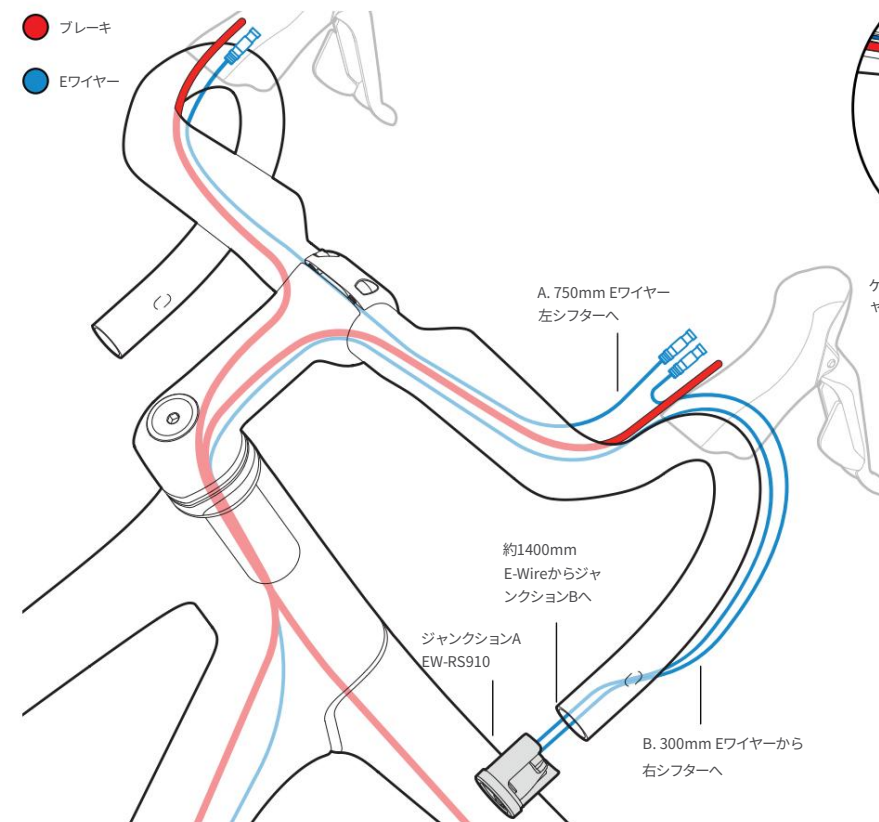
フォーク ウェッジ クランプが拡張してステム ステアラーに押し付けられ、フォークが固定されます。



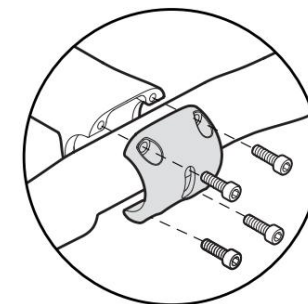
最後に、軽くグリースを塗ったステムトップキャップ (STC-A029)を取り付けます。1~2Nmで締め付けます。

ハンドルバーケーブルルーティング - 電動

- ブレーキ
- Eワイヤー



ケーブルハウジングはバーの下部のチャネル内を通ります。

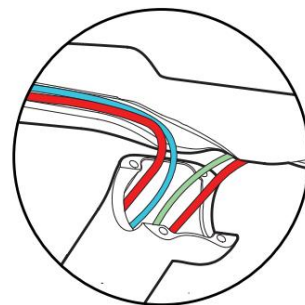
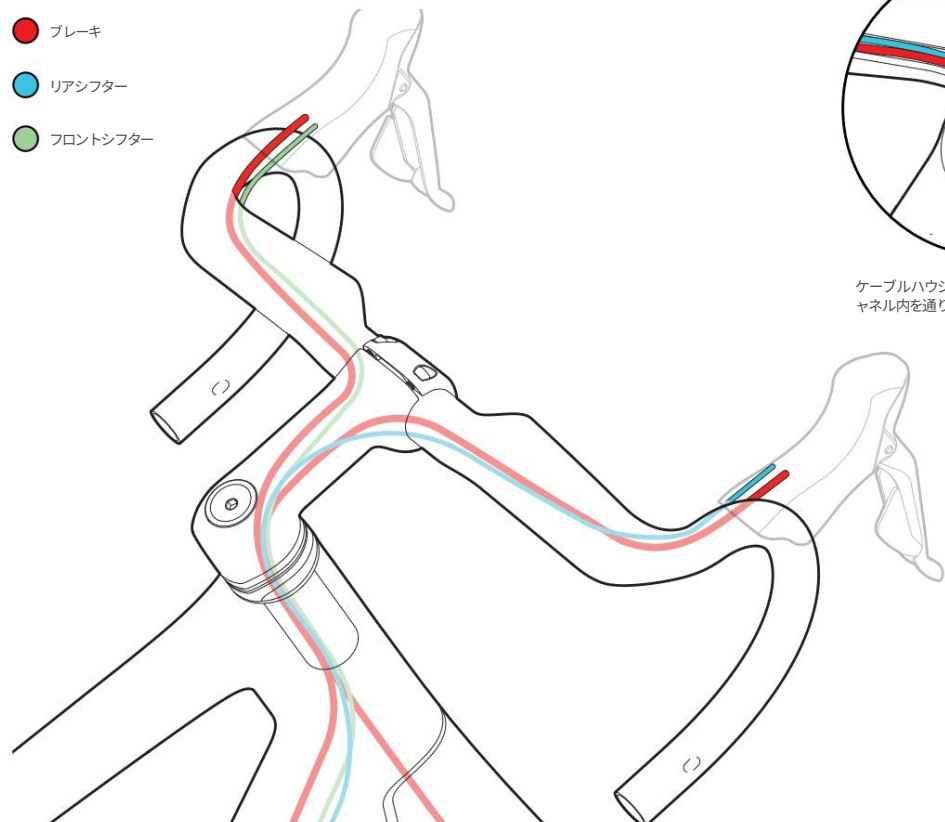


ステムフェイスプレートのボルトを6Nmに締めます。

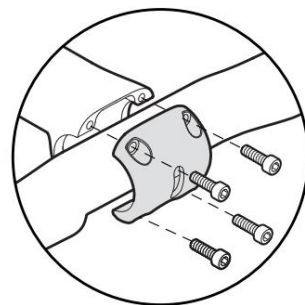
1. ハンドルバーにシフターを取り付け、左は750mmのE-Wire Aを使用します。
2. ジャンクションA (EW-RS910)を右シフターに接続する300mmのEワイヤBを取り付けます。
3. 1400mm E-Wire Cをフレームからステムに通してジャンクションAに接続します。
4. ブレーキホースとEワイヤーをハンドルバーの適切なチャネルに接続します。
5. カーボンアセトリコンパウンドを塗布するハンドルバーとステムのフェイスプレート間の接触領域。
6. ハンドルバーをステムに取り付け、製造元の指示に従ってブレーキとシフトコントロールを取り付けます。

ハンドルバーケーブルルーティング - メカニカル

- ブレーキ
- リアシフター
- フロントシフター



ケーブルハウジングはバーの下部のチャンネル内を通ります。

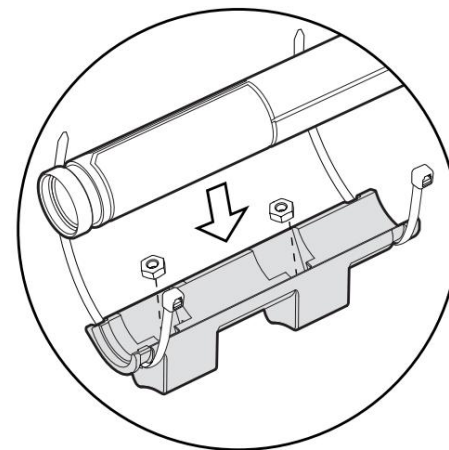


ステムフェイスプレートのボルトを6Nmに締めます。

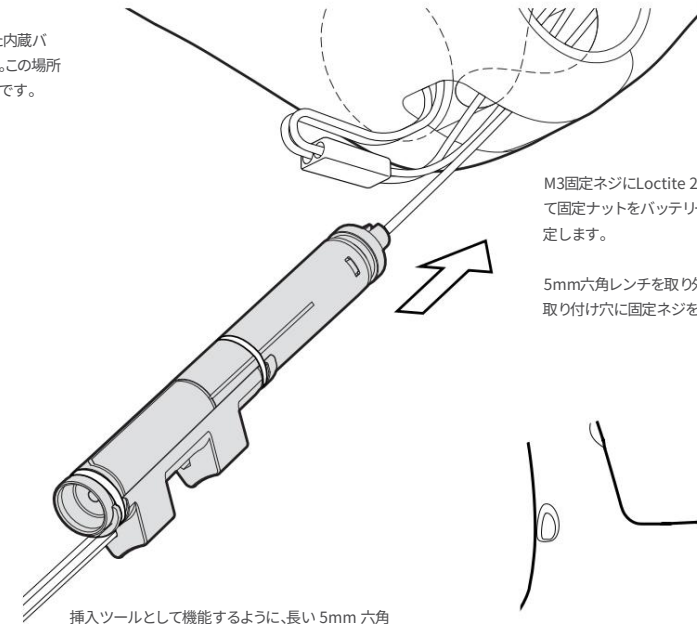
1. ハンドルバーにシフターを取り付けます。
2. ブレーキホースとシフターハウジングをハンドルバーの適切なチャンネルに配置します。
3. カーボンアセトリコンパウンドを塗布する
ハンドルバーとステムのフェイスプレート間の接触領域。
4. ハンドルバーをステムに取り付け、製造元の指示に従ってブレーキとシフトコントロールを取り付けます。

DI2バッテリーの取り付け

Shimano Di2システムのバッテリーは、このフレームに合わせて設計された内蔵バッテリーマウント (MT-BINT) を使用してダウンチューブ内に取り付けます。この場所は密閉されているため、最終取り付け前にシステムをテストすることが重要です。



2つのM3固定ナットを上部の穴に差し込み、ホルダーに差し込みます。結束バンド2本を使ってバッテリーをマウントに固定し、取り付けます。

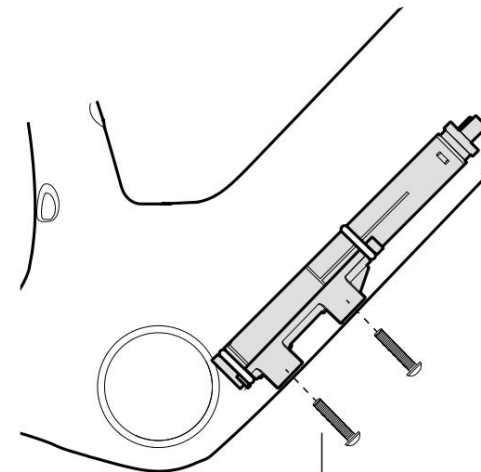


挿入ツールとして機能するように、長い5mm六角キーをホルダーの下端に挿入します。

バッテリーとホルダーアセンブリをボトムブラケットシェルの開口部を通して、ダウンチューブ内で固定ナットが取り付け穴の上にくるように配置します。

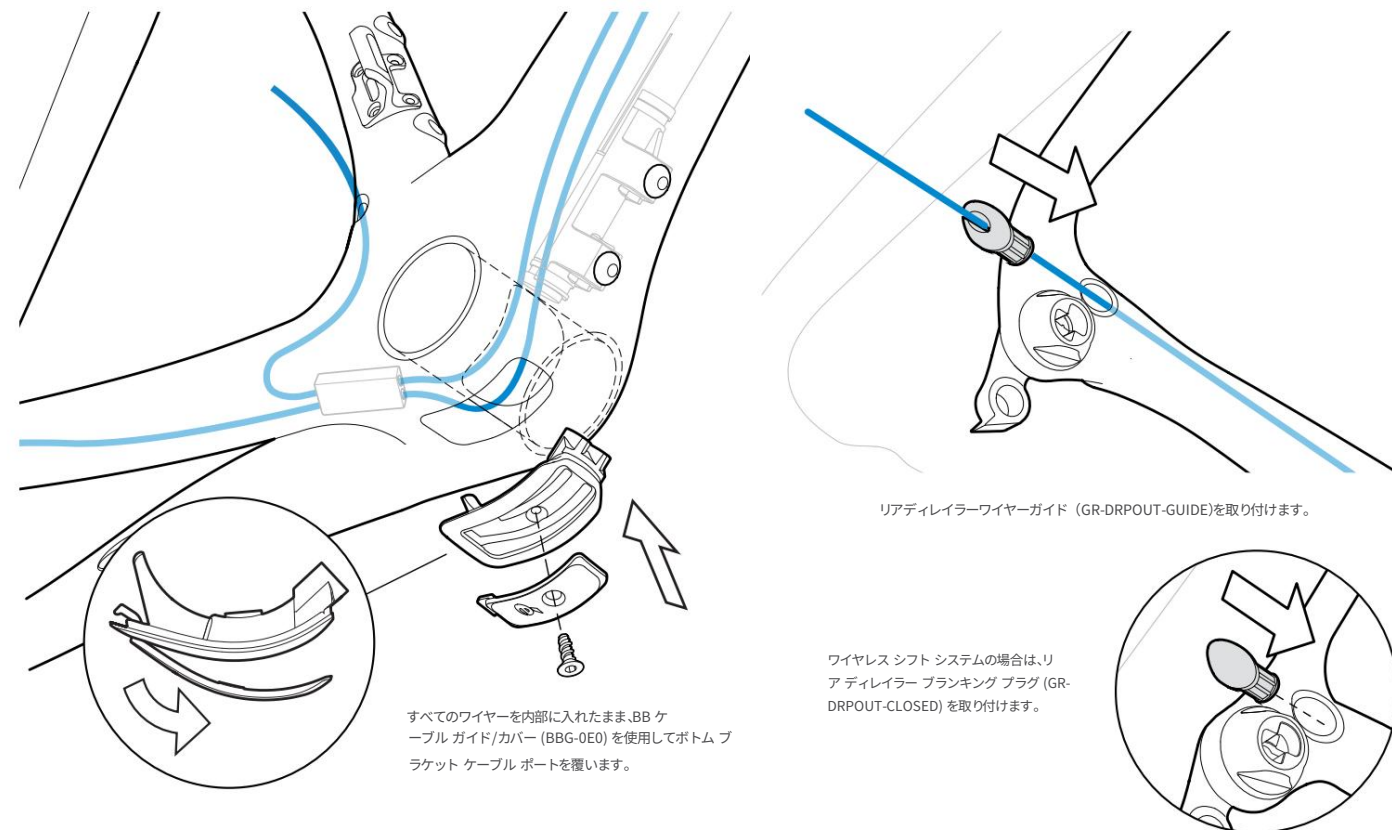
M3固定ネジにLoctite 242を塗布してください。取り付け穴を通して固定ナットをバッテリーホルダーに引っ掛け、軽く締めて固定します。

5mm六角レンチを取り外します。2mm六角レンチを使用して、取り付け穴に固定ネジを最大2.5Nmで締めます。

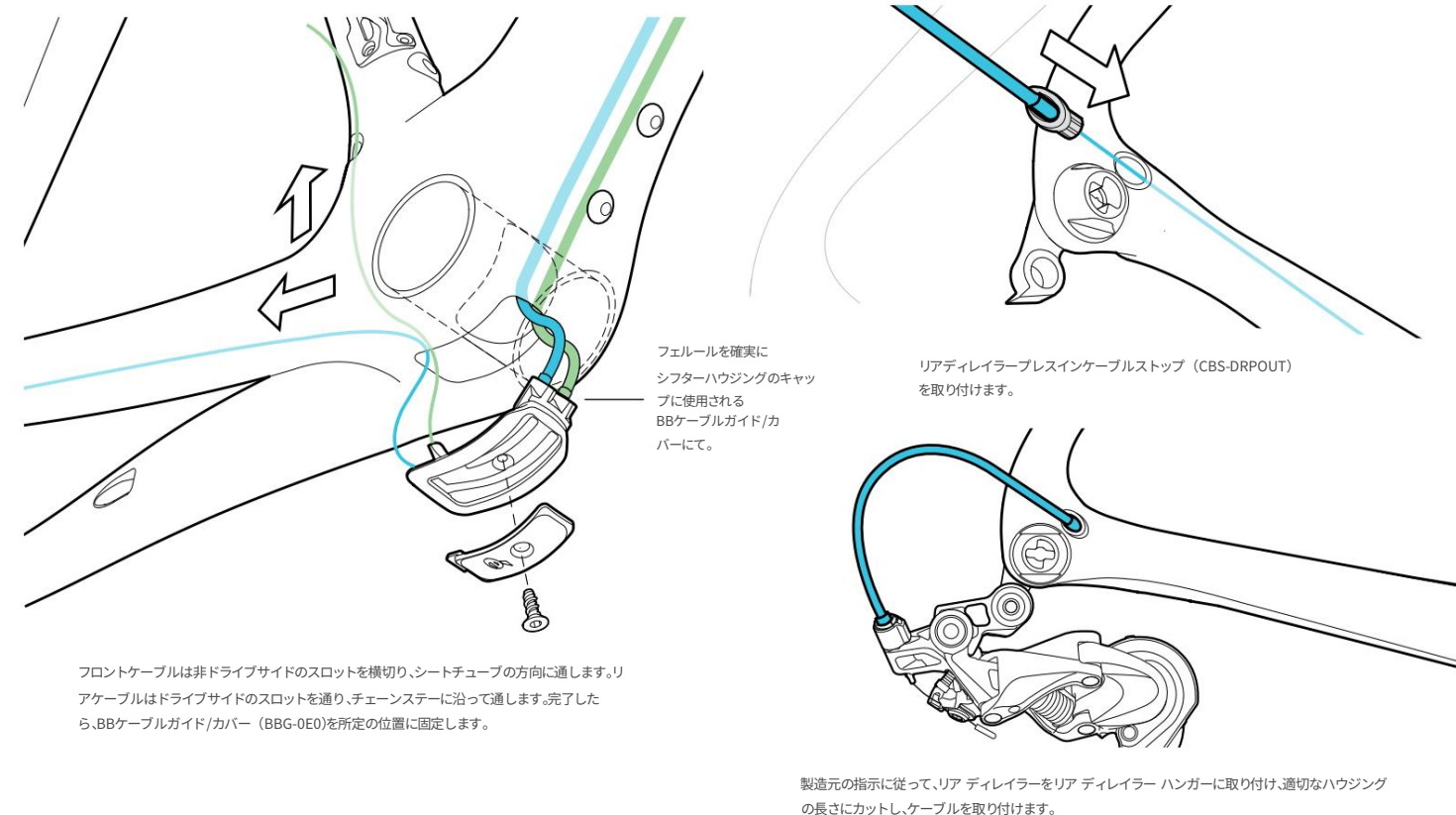


M3 x 16mmネジ

電気ケーブルの設置

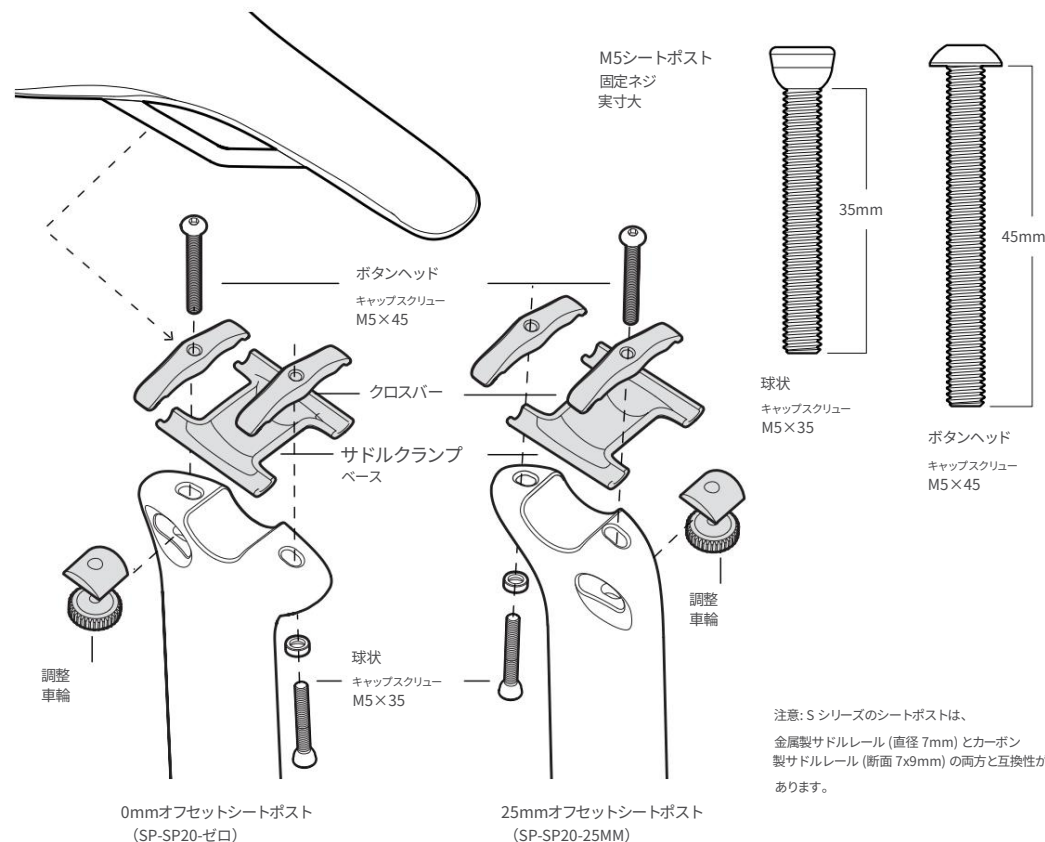


機械ケーブルの取り付け



シートポストアセンブリ

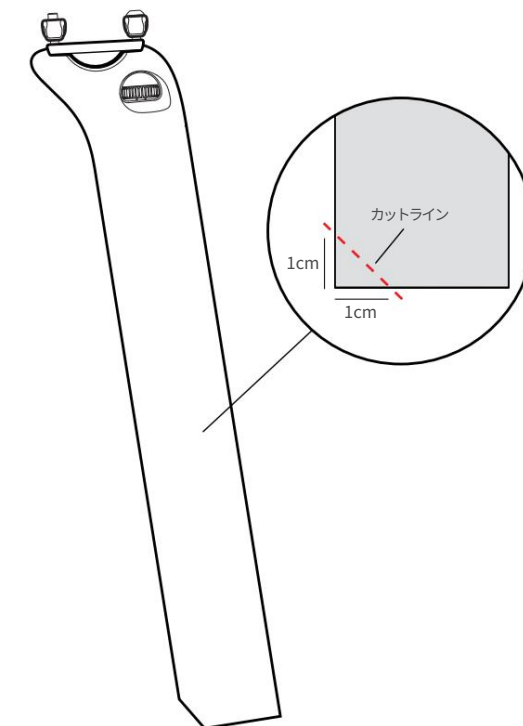
1. 45mmボタンヘッドキャップスクリューの頭の下ねじ山に Loctite 242を塗布します。45mmボタンヘッドキャップスクリューにクロスバーを取り付け、3Nmのトルクで締め付けます。
2. 固定ネジの両方に Loctite 242 が塗布されていることを確認します。
3. シートポストの切り欠きに湾曲したワッシャーと調整ダイヤルを取り付けます。
4. クロスバーを取り付けた状態でボタンヘッドキャップスクリューを取り付け、ねじ山が噛み合うまでダイヤルを回します。
5. 球面ワッシャーを 35mm の球面キャップ スクリューなので、凹面がスクリューの凸面と噛み合います。
6. クロスバーを取り付けます。
7. シートポストの上面の半径部分にカーボンアセンブリコンパウンドを薄く塗布します。
8. 図に従って、下部サドルクランプベースを取り付けます。
9. サドル レールを上部と下部のクランプ面の間に配置します。
10. 最初に調整ホイールを使用して、希望のサドル角度を確立します。
11. 反対側の角度調整ネジを締めてサドルを8~9Nmで固定します。



シートポストの切断手順

注: Cervélo Aeroシートポストはすべて、後端に45度の面取り加工が施されていることが必須です。取り付け後にトリミングが必要な場合は、以下の方法を推奨します。

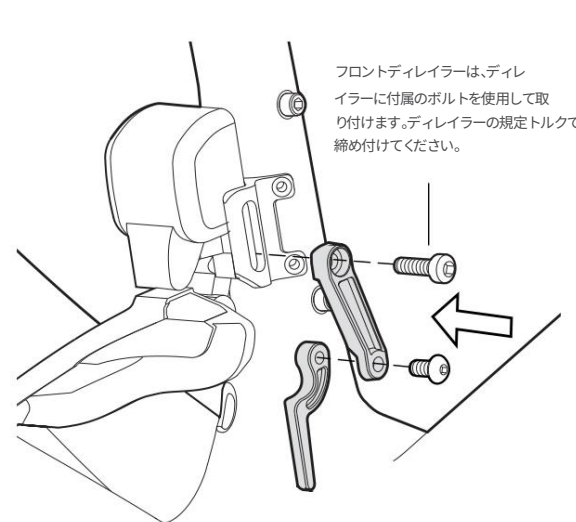
1. シートポストの挿入を最小 6.5cm、最大 8.5cm に維持するように注意しながら、慎重に測定し、薄い色のグリースペンシルを使用して、シートポストの切断位置を正確にマークします。
2. S シリーズ シートポストを Park Tool SG-7.2 ソー ガイド (または同等品) に挿入し、ツールのブレード ガイドを通してカットオフラインがはっきりと見えるようにします。
3. カーボン複合材の切断専用設計されたブレード (または 1 インチあたり 32 個以上の歯を持つ細かい歯のブレード) を使用して、シートポストの切断に進みます (Park Tool の指示に従ってください)。
4. 細かい目のサンドペーパーを使用して、切り口のほつれやバリを慎重に取り除きます。切り口から約10cm離れたところにクランプを置きます。
5. グリースペンシルを使って、シートポストの後端に切断面から1cmの点を、そしてシートポストの後ろから1cmの点を下端に印を付けます。この2点を結んで45度のガイドラインとなる線を引きします。
6. のこぎりの刃をグリースペンシルの印に慎重に当てます。カットを続行すると、シートポストの後端に 45 度の面取りがカットされます。
7. 端を丁寧に研磨し、カーボンアセンブリコンパウンドを塗布した後、フレームに戻します。



⚠ WARNING

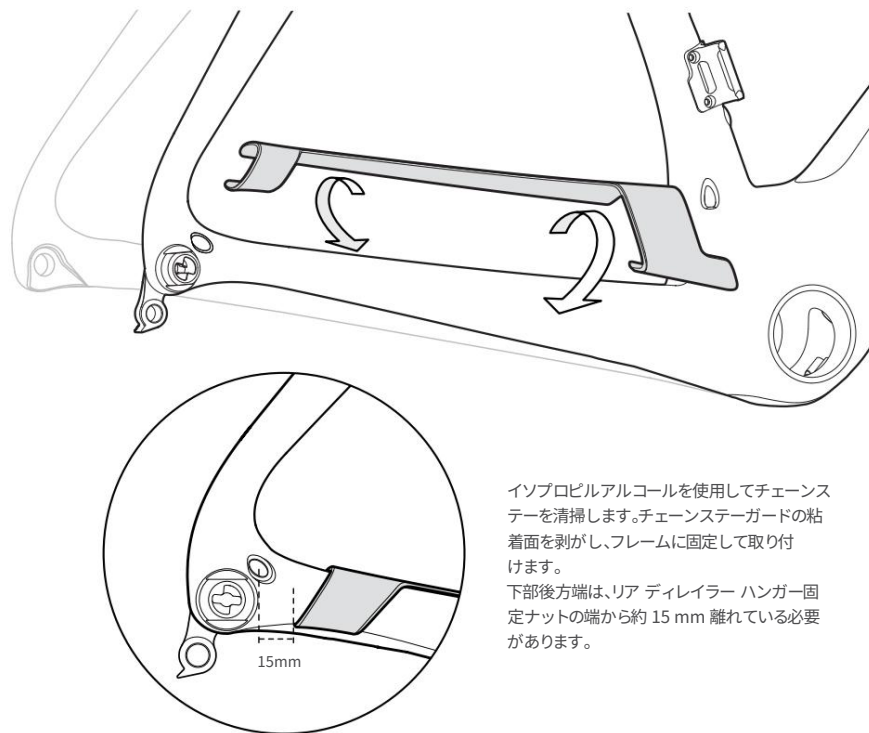
トリミングが必要な場合は、最終的な長さはフレームにシートポストが最低6.5cm残るようにしてください。この要件を満たさない場合、保証の対象外となるフレームの損傷、またはライダーの重傷につながる可能性があります。

フレーム保護の取り付け



フロントディレイラーを取り付ける際にチェーンキャッチャーを取り付けます。チェーンを最小チェーンリング、最大カセットスプロケットにセットした状態で最終調整を行います。接続ボルトを4Nmで締め付けます。

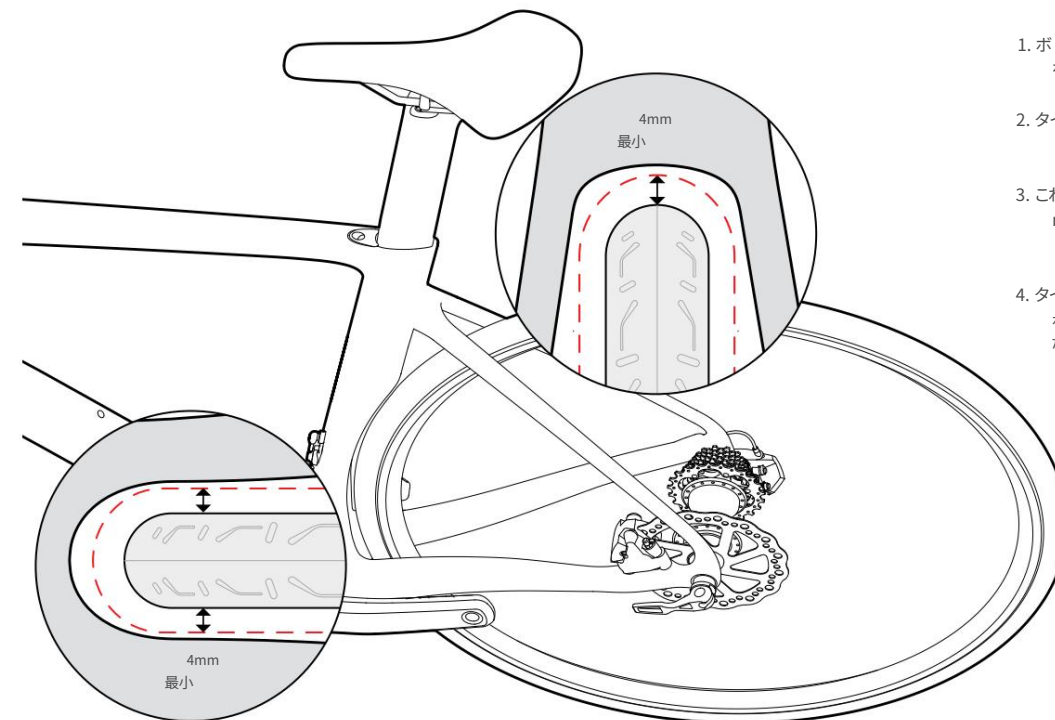
注意:チェーンがチェーンリング内に落ちた場合にフレームが損傷するのを防ぐため、チェーンキャッチャーを取り付けることをお勧めします。



イソプロピルアルコールを使用してチェーンステアーを清掃します。チェーンステアーガードの粘着面を剥がし、フレームに固定して取り付けます。下部後方端は、リア ディレイラー ハンガー固定ナットの端から約 15 mm 離れている必要があります。

タイヤクリアランス

Cervéloバイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



1. ボトムブラケット接合部におけるチェーンステアー間のスペースを測定します。
2. タイヤの上部にあるシートステアー間のスペースを測定します。
3. これら 2 つの数値のうち小さい方から 8 mm (片側 4 mm) を減算して、残りのスペースを決定します。
4. タイヤを取り付けて完全に空気を入れた状態でホイールに合うかどうかを確認するために、タイヤの幅を測定してください。

⚠ WARNING

タイヤとフレームまたはフォークが接触すると、走行中にコントロールを失い、深刻な怪我につながる可能性があります。これらのガイドラインに従わない場合、フレームに損傷が生じる可能性があり、Cervélo 限定生涯保証の対象外となります。

迅速な車軸ホイールの取り付け

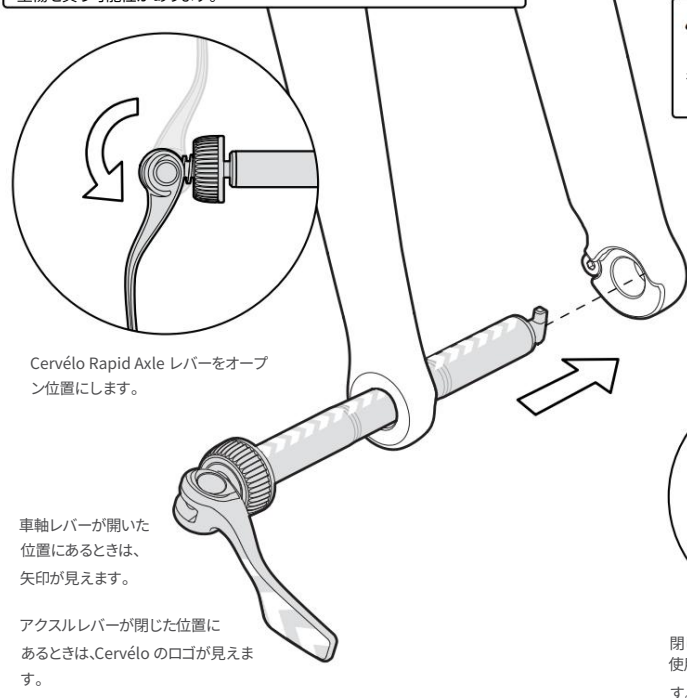
⚠ WARNING

ライダーの安全を確保するためには、Cervélo Rapid Axleを正しく取り付けることが不可欠です。正しく取り付けないと、転倒につながり、ライダーが重傷を負う可能性があります。

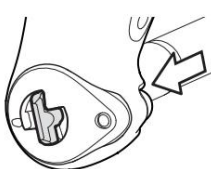
前輪を固定するには、グリースを塗布したアクスルを、ドライブサイドのドロップアウトからホイールハブに通し、アクスルのT字型エンドをインサートに合わせます。アクスルを時計回りに90°回転させ、T字型エンドがインサートに当たらない位置まで回します。レバーの締め付けが強すぎる場合や弱すぎる場合は、プリロードナットを調整して、レバーがしっかりと固定されるようにします。

⚠ WARNING

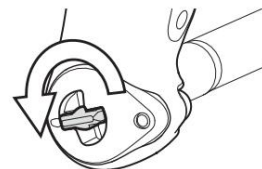
レバーを閉じるのに必要な力は、手のひらにはっきりとした跡を残すか、閉じるときにこの作用を得るためにフォークの脚の周りに指を巻き付ける必要があります。



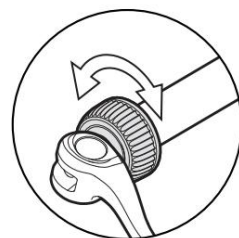
Cervélo Rapid Axle レバーをオープン位置にします。



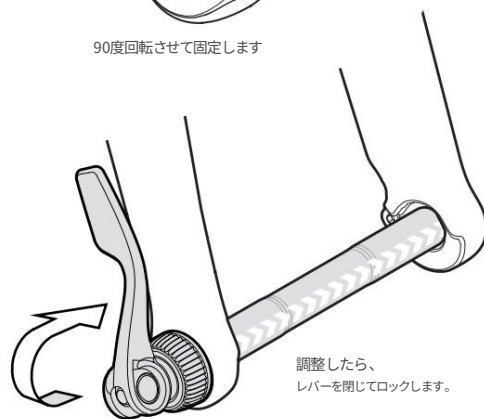
車軸を挿入する



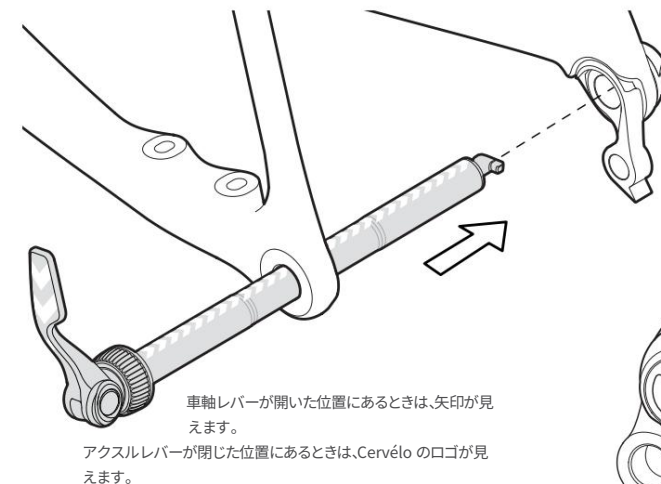
90度回転させて固定します



閉じる前に、プリロードナットを使用して希望の張力を設定します。



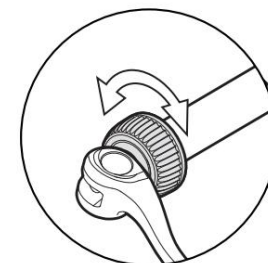
調整したら、レバーを閉じてロックします。



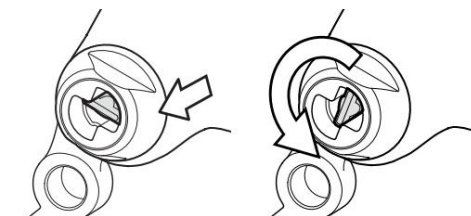
後輪を固定するには、グリースを塗布したアクスルを、非駆動側のドロップアウトからホイールハブに通し、アクスルのTエンドをディレイラーハンガーのインサートに合わせます。アクスルを時計回りに90°回転させ、Tエンドがインサートに当たって止まるまで回します。レバーの締め付けが強すぎる場合や弱すぎる場合は、プリロードナットを調整して、レバーがしっかりと固定されるようにします。

⚠ WARNING

レバーを閉じるのに必要な力は、手のひらにはっきりとした跡を残すか、閉じるときにこの作用を得るためにチェーンステーに指を巻き付ける必要があります。

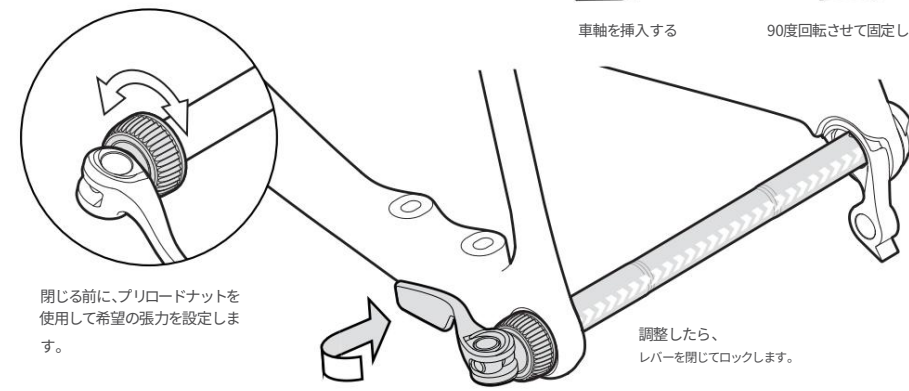


閉じる前に、プリロードナットを使用して希望の張力を設定します。

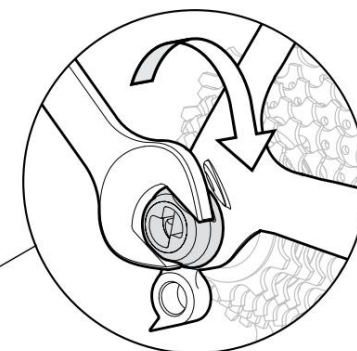


車軸を挿入する

90度回転させて固定します



調整したら、レバーを閉じてロックします。



17mmレンチを使用して、リアディレイラーハンガー固定ナットを最終締め付けします。この作業は最初の組み立て時にのみ行うもので、その後の調整は必要ありません。

⚠ WARNING

製造元の指示に従ってブレーキを調整します。
メーカーの指示に従ってシフトを調整します。

2019 S3 ディスク リテラー アセンブリ マニュアル

www.cervelo.com

CER-S3D-V2 2019-02-15

cervelo